

2024年9月19日

各位

会社名 株式会社SANKYO  
 代表者名 代表取締役社長 石原明彦  
 (コード番号6417 東証プライム)  
 問合せ先 専務執行役員 管理本部長 高橋博史  
 (TEL. 03-5778-7777)

2025年3月期第2四半期(累計)業績予想及び配当予想に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、未公表としていた2025年3月期第2四半期累計期間の業績予想を下記のとおり公表いたします。また、当社配当方針に従い、未定としていた第2四半期末及び期末の配当予想についてもあわせて公表いたします。

記

1. 第2四半期業績予想の公表について

(1) 2025年3月期 第2四半期(累計)連結業績予想(2024年4月1日~2024年9月30日)  
 (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益(円)
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回発表予想 (B)	90,000	35,000	35,000	25,000	113.91
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2024年3月期第2四半期)	116,190	45,460	45,863	32,787	113.11

(注) 当社は、2024年3月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。2024年3月期第2四半期の1株当たり四半期純利益につきましては、2024年3月期の期首に株式分割が行われたと仮定して算定しております。

(2) 2025年3月期第2四半期(累計)連結業績予想の開示理由

当社グループは事業計画を年次で管理しており、通期業績予想のみ開示しておりますが、主力のパチンコ・パチスロ遊技機の2024年9月末までの納品の見通しがほぼ固まったことから、第2四半期の着地見込みを算出いたしましたので、今般業績予想として公表を行うものです。

当第2四半期累計期間におきましては、パチンコ機関連事業は前年同期に比べ販売台数は減少する見込みであるものの、2024年8月に販売した「eフィーバー機動戦士ガンダムユニコーン 再来-白き一角獣と黒き獅子-」が、当社スマートパチンコ機としては初のヒット機種となり、

今後のスマートパチンコ機普及に弾みをつけるきっかけになるものと期待しております。

また、パチスロ機関連事業においては、「L パチスロ 戦姫絶唱シンフォギア 正義の歌」等、新規3タイトルを販売したことに加え、昨年度以前に販売した複数の機種について増産対応を行ったことにより販売台数を大きく伸ばし、スマートパチスロへの市場移行を契機に、パチスロ機市場においても当社グループの存在感が高まる状況となっております。

この結果、パチンコ機販売台数は83千台（前年同四半期は167千台）、パチスロ機販売台数は81千台（同48千台）、となり、業績予想は上記に記載のとおり減収減益となる見通しですが、計画に対して順調に推移しております。

なお、2025年3月期通期の連結業績予想につきましては、現時点で2024年5月9日公表の数値に変更はございません。今後、修正が必要となった際には速やかに公表いたします。

## 2. 配当予想の公表について

### (1) 配当予想

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2024年5月9日発表)	—	—	80.00円
今回予想	40.00円	40.00円	80.00円
(ご参考) 前期実績 (2024年3月期)	150.00円	50.00円	—

(注) 当社は、2024年3月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。2024年3月期第2四半期末については、当該株式分割前の実際の配当金額を記載しております。2024年3月期末については、当該株式分割後の金額を記載し、年間配当金合計は「—」と記載しております。当該株式分割を考慮した場合の2024年3月期の年間配当金は、80円00銭であります。

### (2) 配当予想の開示理由

当社では、連結配当性向40%を目安とした業績連動型配当を行うことを基本方針としております。なお、第2四半期末配当金（中間配当金）につきましては、第2四半期累計期間の連結配当性向40%を配当金総額の目安としますが、中間配当金を決定する時点での通期1株当たり配当金予想金額の50%を上限とします。

本日公表した第2四半期業績見通し及び上記の配当方針に基づき、未定としていた中間配当金につきましては、1株当たり40円とする予定です。なお、年間配当金につきましては1株当たり80円の予想を据え置き、期末配当は40円となる予定です。なお、今後業績予想の修正が必要となった場合は、上記配当方針に基づき見直すことといたします。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上